

しょうらいのゆめ

将来の夢

future dream



生子菅小学校 4年
鈴木 郁音さん

ぼくのしょう来のゆめは、白さいやレタスなどのおいしい野さいを作ることです。

なぜ、農家の仕事をやりたいかというと、ぼくは野さいが大すきだからです。おじいちゃんやおばあちゃんが野さい作りをしているから、ぼくもいつしよにやりたいと思いました。

トマトやキュウリやレタスを作って、家族や地いきのみなさんに食べてもらいたいです。

おいしい野さいが作れるよう、家族のお手伝いをして、作り方を学びたいと思います。



イラスト
地域活動支援センター
"はあとほっほ" ほん太さん

ばんどう文芸

短歌

裏庭の棕栂の葉擦れがわれを誘うあなたが揺らした合図でしょうか 半谷 木村恵美子
【評】 かけがえない人がこの世から消滅した悲哀を詠んでいる挽歌。棕栂の葉はやや強風によって葉擦れしているよう。その重々しい響きが深い哀傷を伝える。

カギ針を巧みに操りレース編む待合室の女の手見惚る 法師戸 大関 笑子
アバウトな吾の性格八十五年わが人生はのどやかに過ぐ 馬立 古矢 美世
浴室でシャワー出しつつ思い切りしゃくり泣きたり母逝きし日に 生子 稲毛田二子
空っぽの如雨露を持ちて二歳児の曾孫は花に水遣り真似る 弓田 市川 悦子
サボテンが日影で花を咲かせたり窓辺に飾れば花は輝き 大崎 市村 栄子
来てみれば瓦礫の山は見えりともみえない音もない放射能 岩井 楠原 久三
畑仕事早くに終らせ病室の弟見舞う笑顔見たくて みむら 倉持ときの
捨てられた子犬鳴いてる通学路抱いた悪たれ大粒涙 山 飯村 卓也
己ありと主張するがに桜咲くいつも目にせぬ雑木林に 山 栗原ヤエ子

俳句

林 秀峰 選

山の端に水音高き春スキー 岩井 中川 達男
【評】 寒さもゆるむと、山裾は雪解けの水が音をたてて流れその情景は、天からの贈りものである。大自然のパノラマを背景に滑降する春スキー。

薄氷や藪の中より知らぬ鳥 借宿 木村 歌子
沈丁の香りに朝の始まりぬ 山子 鹿野谷 環
阿羅漢の雪化粧しておられけり 岩井 飯村 卓也
この沼も住めば都や残り鴨 菅谷 林 きよ子
思ひ出の祖父の遺愛の沈丁花 長谷 滝本 和子
梅香り好文亭の潤ひぬ 山谷 島田 よね
薬草飲む侮るなかれ春の風邪 沓掛 中山 和子
いと静か一人の昼餼沈丁花 沓掛 中山 和子
春北風和服姿の謝恩会 沓掛 中山 和子
鶯の幼き声でありにけり 沓掛 中山 和子
将門公終焉の地の桜散る 沓掛 中山 和子

短歌・俳句の作品を募集します！

皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。

選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩井4633-1 ☎0297(35)1230